
天狗、天使検証

風唄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天狗、天使検証

【Nコード】

N8878A

【作者名】

風唄

【あらすじ】

これは、天狗、天使についてを私の独断と偏見と拙い知識と貧相な発想力を駆使し、検証した駄文です、

(前書き)

警告、これは私の独断と偏見と拙い知識と貧相な発想力を駆使して書いた駄文ですので読む価値は限りなくゼロに等しいです、承諾した方のみお読み下さい m () m

天使と天狗：

私はこれらが共通点が多いように思える、

これは私が独断と偏見と拙い知識と貧相な発想力などを駆使して天使と天狗について仮説を立ててみようと思う、

始めに書いておくが、この話を読む価値は限りなくゼロに等しい、
それでもいいと、承諾した方のみ以下の文をお読み下さい m〔
m

先ず始めに私は天使と天狗の共通点が多いように思えた、

天狗の特徴を幾つか書いてみる、
高い鼻、赤い顔、翼がある、飛行能力、
これらは天使と酷似していると思う、

ほかに

山伏姿、手足の爪が長い、金剛杖、太刀、うちわをもつ、神通力がある

などがあるが、持っているものや恰好なので、それらはこの際、無視しても構わないだろう、

で、赤い顔、高い鼻は欧州人、それも北欧、ロシア人との特徴に近いのでは無いか、

それらに尾鰭がついてあのような姿になったのではないか、

噂というのは凄いものだ、

それは鎖国時代にきたペリー提督を直接見た絵と、噂を聞いて書いたペリー提督の絵を見ていただくとよくわかると思う、

そして、翼と飛行能力は言うまでも無いだろう、

そこで私は一つの仮説を立てた、

実際、天使にはモデルとなる種族が居たのでは無いか、

これから、私が立てた仮説をお聞きいただきたい、
しつこいようだが、あくまで

「独断と偏見と拙い知識と貧相な発想力」
で私が推測した内容である、

まず、種族の特徴から

基本的には北欧、ロシア人に羽が生えたようなものと思っていた
きたい、

ただ、違うのは翼が背中から生えているのではなく、手が羽根にな
っているようなものと仮定したい、

説明下手で申し訳ないが、着物の振袖みたいなものだと思っていた
だきたい、

もしくは、紅白での小林幸子を想像していただきたい、

無論、飛ぶとは言っても人型の生き物の筋肉では無理がある、

鳩を見ていただけるとわかるが、鳩は飛ぶために不必要なものを最

大限に削り、鳩胸と言われるほどの筋肉を持ってようやく飛べるのだ、

つまり、人が飛べる可能性は無い、

よってここでは飛ぶ、と言うより、
滑空すると言う状態である、

モモンガを想像していただけるといいと思う、

さて、容姿についてはこれくらいでいいと思う、

それで、話を戻したい

まず、それらの種族はロシアにいた、

それらの種族は平和に暮らしていた、
だが、時代がそれらを許さなかった、

彼等が持つ滑空能力は、飛行機や銃ができる前ならば、それらは軍事的に非常に強力な戦力だ、

ほかにも宗教的な問題もある、

モデルとなったからには欧州では重宝されるだろう、
天使狩りなんかも行われたと思う、

もしかしたら、異分子として迫害されていたのかもしれない、

とりかく、その種族は居住地を追われたのだ、

そうして、少しずつ、少しずつ、アジア地方へ近づいた、

そうして、やがていつのまにか中国についたのだが、そこでも狩りや、迫害を受け、ここで日本にたどり着いたのではないか、

あるいは、中国で捕らえられ、日本に何かの機会に贈られたのでは無いだろうか、

そうして、彼（彼女）は日本にたどり着いた、

やがて山に住み着いた、

そのうち、彼等は…いや、彼を誰かが見つけた、

その姿は明らかに異端の存在だ、

その存在を見つけた人から噂は噂を呼び、今の天狗のような姿になった、

山伏の姿も山で生活するには便利のものだし金剛杖も山伏が持っているもおかしくない、

太刀も不自然ではないだろう、
神通力も無知な人間から見ると、科学は魔法のようなものなのでは無いだろうか、

最後に、天狗という名前も気になる、

何故天の狗なのか、

以上長々書いてみたが、無論、結論など出ない、

だが、こんな考えも面白いのでは無いか、と、私は思う、

(後書き)

こんな駄文を最後までお読みいただきありがとうございます。m(_____)m
正直、文はめちゃくちゃだった気もします。…申し訳ありませんでした。m(_____)m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8878a/>

天狗、天使検証

2010年10月30日22時33分発行